

ひよしたいしゃ 日吉大社 (日吉東照宮)

ロケ地



住所：大津市坂本4-2-12

本殿と拝殿が繋がった「権現造」という様式が用いられた社殿は素晴らしく、その様式を基に日光東照宮を再建したといわれています。本作では、曇神社のシーンを撮影したのですが、曇神社のモデルである唐崎神社と、この日吉東照宮は、ともに日吉大社の摂社という奇跡のマッチング。監督お気に入りのロケーションです。



曇天に笑う × 滋賀ロケ地マップ

「曇天に笑う」の物語の舞台であり多くのシーンが撮影された滋賀県曇天に笑った後は、滋賀で笑え！



ゆかりの地

京都

大津



よつぎ 世継 (琵琶湖岸)

ロケ地



住所：米原市世継

湖畔にたたずむ2本の木が印象的な、夕景スポットとしても有名な琵琶湖岸です。本作では、天火と空丸の兄弟の絆を深める重要なシーンを撮影しました。



ちくぶしま 竹生島

ロケ地



住所：長浜市早崎町竹生島
(長浜港、彦根港、今津港からの定期船があります)

琵琶湖の北部に浮かぶ竹生島は、琵琶湖随一のパワースポットとして注目を集めています。本作品に登場する琵琶湖に浮かぶ監獄「獄門処」は、この竹生島を撮影した映像をベースに作られました。

あねがわかこう 姉川河口 (琵琶湖岸)

ロケ地



住所：長浜市南浜町

水鳥の群れが見られるなど、自然豊かな琵琶湖の原風景を残す場所です。監督お気に入りの情景で、本作品のラストシーンに選ばれました。



近江料理 おうみりょうり

曇家の食事シーンで登場する料理は、滋賀ならではの食材を取り寄せて近江料理を再現したもの。細部までこだわりが徹底されています。

①近江米

米どころの滋賀では、粘土質の肥沃な土壌のもと、琵琶湖を取りまく山々からの潤沢な水で、おいしいお米が育ちます。

②小鮎の串焼き

小さい体にうまみが凝縮された琵琶湖育ちの鮎。特有の香りとほのかな苦みに琵琶湖の風情を感じ、思わず箸が進みます。

③日野菜の漬物

近江の伝統野菜「日野菜」。カブの上部が鮮やかな赤紫色で、辛味と苦みを程よく含んだその美味しさは、古くから漬物として伝承されてきました。

④オクラとナスの和え物

使っているのは近江の伝統野菜「下田なす」。小ぶりで水分たっぷりのやわらかな実と薄い皮。リンゴのような甘味があり、とてもジューシーです。

⑤瀬田シジミのみそ汁

琵琶湖の砂地で獲れる固有種の瀬田シジミ。殻が厚く、身にコクがあり濃厚な出汁がでます。湖国滋賀では欠かせない庶民の味です。



虹色の旅へ。
滋賀・びわ湖

滋賀・びわ湖の多彩な魅力を「虹色」で表現した観光キャンペーンを2018年7月～12月に実施します！

／ 滋賀県の観光情報はこちらでチェック！ ／

滋賀県観光情報

検索

<https://www.biwako-visitors.jp/>

滋賀ロケーションオフィス

〒520-8577 滋賀県大津市京町4-1-1 (滋賀県庁観光交流局内)
TEL: 077-528-3745 FAX: 077-527-7329 E-mail: info@shiga-location.jp
URL: <http://www.shiga-location.jp>

